

回春院



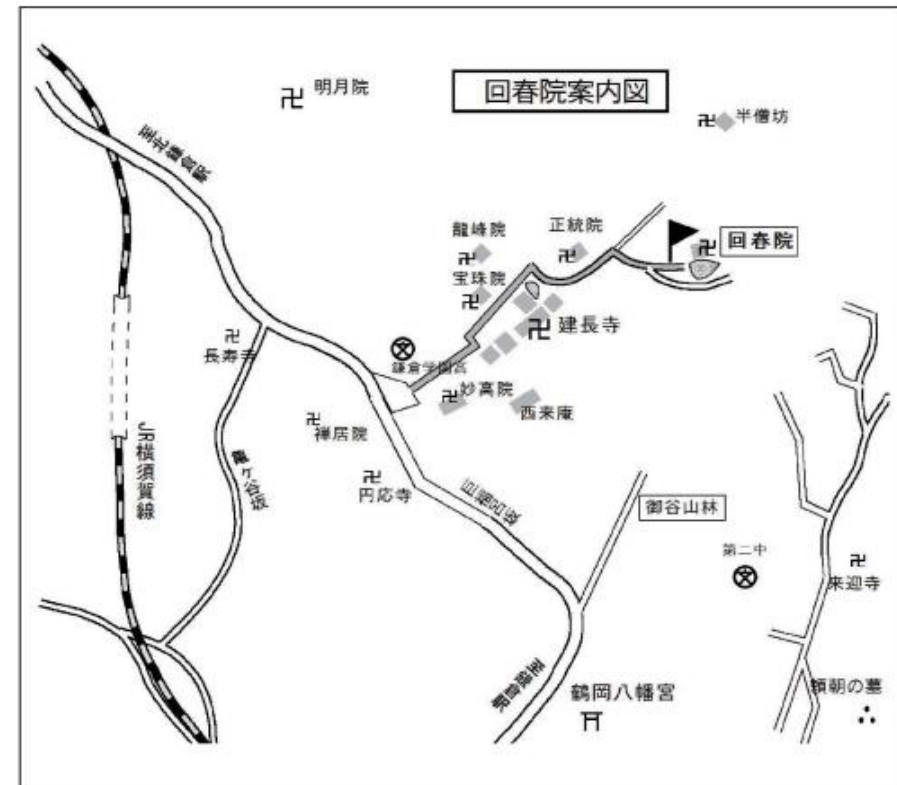
鎌倉五山第一位建長寺の塔頭のひとつ。建長寺21世、仏覚禅師・玉山徳璇（ぎょくさん とくせん 1225-1334）の同寺退院後の塔所として設立された。建長寺の奥、半僧坊へ向かう道を途中から右に折れ、暫く進んだところにある。背後に手付かずの広大な谷戸を擁し、その寺域は6.3ヘクタールを超える。

寺域には多くの「やぐら」が点在し、また江戸時代までかつての回春院があったとされる跡地もある。17世紀に編纂された「新編鎌倉誌」には本堂前の大覚池に大亀が常に居るという伝説が記されている。

「幽谷山・回春院」の名は建長寺開山、大覚禅師・蘭溪道隆の語録にある「深山幽谷の面々は春に廻る」という言葉に因んだもの。

アクセス

2023/7/28



みどりのボランティア作業日には建長寺入口・正面左横の通用口から入ることが出来ます。（鎌倉風致保存会のブルーの幟が立っています）
駐車場受付に「鎌倉風致保存会・みどりのボランティア参加のため回春院に行く」と断って入して下さい。

回春院 (詳細地図)

